
編集後記

今年度も多くの定年退職の方々をお送りする時期になりました。お一人おひとりが、超音波医学に関わる教育に熱心に取り組まれ、新たな優れた研究分野を興し、ひいては世界の科学技術・医療に大きく貢献された方々です。我が国の戦後復興期から高度経済成長時代、さらに平成になってのバブル崩壊以後までの約六〇年間、まさに激動の時代の我が国を、常に第一線で支えてこられた方々と存じます。定められたこととはいえ、ご退職になるのは非常に残念なことです。

二年前には、東日本大震災が発生し、ご家族を含め関係者・知人に影響が及んだ方もいらっしゃると思います。特に東北地方は、その復旧に取り組む二年間であり、震災の後片付けや度重なる引っ越しをご経験され、仮施設でご定年を迎えられた方々もいらっしゃるでしょう。大震災がなければ必要なかった作業や負担を率先してこなす中においても、常に学問にいそしみ、教育と研究に邁進された方々に深く敬意を表します。

二〇世紀百年間の科学技術の著しい発展によって、現代の生活の質は、確かに向上し「物質的豊かさ」は得られましたが、もはや、大量消費に依存したまま地球資源を使い果たし、環境を悪化させることはできない、そういう「転換点」を迎えつつあります。今回の大震災はこの流れを加速し、今後、科学技術の重要性がますます高まると思います。二十一世紀の、特に今後三〇年間は、丁度、この混沌とした転換点の中から、「真に豊かな持続可能社会」を構築するための試行錯誤の期間になることと思います。人類の長い歴史にとっても極めて重要な期間になると思います。ご定年になる方々が長年にわたり教育・研究を通じて「蒔かれた種」が、今後この過渡期を乗り越え、最適解を求め、明るい社会になるために必ず結実するものと信じております。

素晴らしい学問体系を築き、超音波医学の歴史に新たな頁を加えられた皆様を、今後も誇りに思います。このかけがえのない「知の承継」に対して心から御礼申し上げます。

先生方の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。今後とも本学会と「超音波医学」へのご指導、ご支援頂きますようお願い申し上げます。

金井 浩

超音波医学
Japanese Journal of
Medical Ultrasonics

第40巻 第2号 (通巻第274号)

© The Japan Society of Ultrasonics in Medicine

—禁転載—

本体価格 2,100円 (税込み) (本誌購読料は会費に含まれます。)

平成25年3月15日発行

編集者 (社)日本超音波医学会編集委員会 委員長 金井 浩

発行者 (社)日本超音波医学会 理事長 竹中 克

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6階

TEL 03-6380-3711

FAX 03-5297-3744

印刷所 大村印刷株式会社